

新建築

SHINKENCHIKU:2021

2

集合住宅特集



武蔵新城のエリアリノベーション

設計 ピークスタジオ 星野千絵＋原崎寛明／CHA 長谷川ゆい＋一色淳之介＋西津尚紀／MUSA-BUILD プロジェクト

施工 ジェクト コーケン ウォータータイト工業 NENGO 横溝建装 田工房

所在地 神奈川県川崎市中原区

AREA RENOVATION IN MUSASHISHINJO

architects: PEAKSTUDIO CHA MUSA-BUILD PROJECT



JR南武線武蔵新城駅エリアの賃貸住戸改修を中心に展開されるエリアリノベーション。改修をきっかけに人の集まりを生み出し、次のプロジェクトへ繋げる。新城デラスから石井ビルを見る。新城デラスが入るセーズイシイ7の大規模改修設計および外構の設計はブルースタジオ。道路に面する部分の舗装をふたつのビルで統一し、街との連続を意識させている。

石井ビル改修／新城WORK

設計 星野千絵＋原崎寛明／CHA（住戸・共用部・外装改修）ピークスタジオ（新城WORK）
施工 コーケン（住戸・共用部・外装改修・新城WORK）ウォータータイト工業（共用部・外装改修）NENGO（住戸）
ISHII BUILDING／SHINJO WORK
architects: CHA PEAKSTUDIO



石井ビル南西側外観。1階に物販・飲食店舗、2階に新城WORK（コワーキングスペース）が入居する。3～4階は賃貸住戸。



南側壁面に設置したサイン。各階の用途の違いに対応でき、なおかつ一体的な体験となるよう、同じ光源の反復と、アンダーラインによるデザインに統一した。隣接する賃貸住宅も案内している。



石井ビル南西側外観。

石井ビルの住戸エントランス。

住戸の共用廊下。

街と繋がる共用部改修(石井ビル共用部・外装改修)
石井ビルでは、長く愛着を持って街に住んでほしいという思いから、住戸の改修が継続的に行われている。改修とともに、設計や施工、イベントマネージャーなどが徐々に住人となり、地域で活動するプレーヤーが集まる建物になった。その延長で今回、外装改修を行うことになった。対象になるのは、共用廊下、階段、外構などいわゆる「共用部」がメインである。これらは共用と言いつつも、現状では誰の場所でもない空白であった。この「共用部」を、建物内部の「住人」と、外部の「街」を繋ぐ空間と捉え直すことで、どちらにとっても意味のある改修にしたいと考えた。
住戸階エントランスまでのアプローチには土舗装を用いて、通過するだけでなく立ち止まって過ごすこともできる質感を持たせた。また2階の「新城WORK」(95頁)へ道路から直接アクセスできる階段にも同じ仕上げを用いた。3、4階住戸への共用階段、廊下の床面も同系色の塗装仕上げとすることで、ビルから街へと一体的な生活の道として繋がっていく。住人がオフィスを利用したり街のイベントに参加したり、街の人びとがオフィスや住戸に興味を持ったりと、住人と街の人の双方にとって暮らしを広げるきっかけとなしてほしい。
(星野千絵＋原崎寛明／CHA)

■新城WORK
設計 建築 ピークスタジオ
照明 DAIYU
植栽 AWA design
施工 コーケン
敷地面積 182.96㎡
建築面積 161.98㎡
延床面積 531.75㎡
施工床面積 135㎡
階数 地上2階(建物全体：地上4階)
構造 鉄骨造
主要用途 オフィス(店舗の改修)
工期 2020年6月～2020年10月
撮影 新建築社写真部
ページシート182頁



新城WORK内観。中央テーブルには四季に応じて変化する植栽を配置。

街の中ではたらく、不均質の中にある豊かさ
(新城WORK)
新城テラスが生まれてから4年、日中街で暮らす人びとのコミュニティが形成され、親や子どもたちによるさまざまな活動が行われてきた。一方で、働く場所としてカフェを利用する人も増え、街の中に現れる人が多様化しつつあること、街の中ではたらくことのニーズが高まっていることが感じられた。
そこで、新城テラスの近くに建つ石井ビル2階の業態更新に伴い、新たなプレーヤーの受け皿となるコワーキングスペースをつくることにした。
私たちは、街との繋がりを感じながら、居心地のよい場所や距離感をつくり出すことを考えた。そのためには、多様性と重層性が必要になる。多様な構成を持つ、異なる要素が重なることで、その中に選択的な隙間が生まれ、それぞれの居場所が発見できると考えた。また、居心地のよい距離をつくるために、明るさの濃淡、仕切る壁の高さと厚み、自然に変化する植栽、街の気配の取り込みについて、複層的な重なりを検討した。
拠点をつくと新たな人や活動が集まる。そこから生まれた課題に対して、また新たな場をつくっていく。場と人の対話が繰り返される中で、コミュニティは醸成される。
(藤木俊大＋佐屋香織＋佐治卓／ピークスタジオ)

